

講演会

子どもたちの歯・口腔の健康づくりについて考える

講師： 清水 央雄氏（北海道和寒町 かたくり歯科 歯科医師）

青山 浩一氏（鹿児島市 ますみクリニック 内科医師）

今なぜ集団でのフッ化物洗口なの？ フッ化物洗口でむし歯は予防できる？

国では2011年に「歯科口腔保健の推進に関する法律」が成立し、その後、本県では2014年に「かごしま歯と口腔の健康づくり県民条例」ができました。その頃から薩摩川内市やさつま町への学校での集団フッ化物洗口の導入が始まり、今年度は霧島市もモデル校として2校導入され、今後拡大していく計画があります。

フッ化物洗口に関しては、保育園や学校等での集団実施について、反対も含めさまざまな意見があります。そこで、保育園や学校等でのフッ化物洗口について、子どもたちの歯・口腔の健康づくりの観点から、多くの皆様のご意見をお聞きし、いっしょに考えたいと思います。

多くの皆様のご参加をお待ちしています。

講師紹介

しみすな お
清水央雄 歯科医師

1984年 日本歯科大学卒業
旭川市、土別市などで歯科医院を開業。フッ素に頼らないむし歯予防を推奨し、全道各地で開かれている「フッ化物洗口の学習会」で講師として招かれている。



講師紹介

あおやまこういち
青山浩一 内科医師

久留米大学医学部卒業
鹿児島市にて内科医院を開業。
甲状腺への影響について福島と鹿児島の子どもの疫学的調査に携わっている。県内で講師として招かれている。

日時：2016年3月5日（土）午後2時～4時

場所：ホテル国分荘（0995-45-0130）

無料

お問い合わせ先

- ☆ 誰でも参加できます！
- ☆ 託児あります！

子どもの命と健康を守る会
事務局 隼人教育会館 42-0003 東